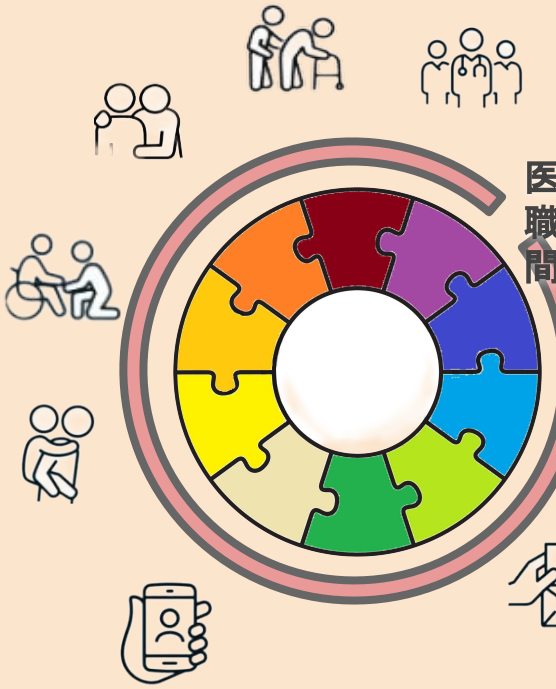
家族、自分にケアが必要になったとき、どうしたらいいのかわからない…

お友達が倒れて、体の半分がマヒしているそうです。
退院後なにか手伝いたいけれど、かえって迷惑になるかな…

同僚がお子さんを亡くされて。
なんて言葉をかけてよいのかわかりません…



5%
医療職・福祉職が関わる時間

95%
家族とすごす、友人とすごす、ペットとすごす、ボランティアとすごす、一人ですごす　..etc

長期／緩和／終末期／グリーフ

ケアを必要とする人に関わる大学生・市民のための研修会

受講者募集

知人が家族を亡くした、お隣さんが病で寝たきりになった。。
専門職しか関れない、関わってはいけない、と思っていませんか？
終末期のケアや長期にわたるケアに医療福祉専門職の関わる時間は、実はたったの５％です。
世界各国で、地域住民がケアに関わる取り組みが拡がっています。
インドで地域住民や大学生向けに行われている研修を札幌市手稲区でも開催してみたいと思います。
「なにかできないかな」から「お互いさま」の地域関係を作っていく一歩を一緒に踏み出しませんか？

受講料：無料
対象者：地域住民（学生含む）
定員：各回１６名（応募者多数の場合は抽選にて決定させていただきます）
日程（２日間）：２０２５/８/１２(火)～１３(水) or ８/２７(水)～２８(木)
※ 詳細は裏面やホームページをご覧下さい.

応募方法：右下のQRコードから応募フォーム、メール、お電話にてお申し込み下さい
応募〆切：２０２５／８／５(火)
研修会場：医療法人稲生会　札幌市手稲区前田4条14丁目3-10
申込の際にお伝えいただきたい内容：お名前、お電話番号、お住いの地域
Emailアドレス、受講動機、希望日程

主催：医療法人稲生会（とうせいかい）
問い合わせ：医療法人稲生会（目黒）011-685-2799、meguro-yu@kjnet.onmicrosoft.com

この研修をうけるとどのようなことが学べますか？
地域に暮らすケアが必要な方と関わる際にどのような知識があるとよいのか、どのように話せばよいのか、そもそもどのようなニーズがあるのかを知ることができます。私達と一緒に、ご自身が地域でできることを探してみませんか？

医療や福祉の専門職ではない私でもいいのですか？
専門職ではないとケアに関われないと思ってしまいがちです。しかし、ケアが必要な方のスケジュールにおいて医療福祉職が関わる時間はたった５％です。その他の９５％の時間は、お一人や、ご家族、お友達と過ごしています。重たい病を抱えながら地域で暮らす方の生活に必要なのは医療福祉だけではなくて、あたたかい会話であったり、ちょっとした雪かきや買い出しのお手伝いだったりします。それらには資格は必要としません。

スケジュール（予定）
２日間の研修です。Ａ日程とＢ日程があり、どちらか一方をお選びいただきます。
ご都合がつかない場合はＡ日程とB日程を組み合わせることができる場合があります。8/5までに個別にお問い合わせください。

日程	1日目	2日目
A日程	8/12（火）10:10-17:10	8/13(水）10:10-17:10
B日程	8/27（水）10:10-17:10	8/28（木）10:10-17:10

時間	1日目講義内容（予定）	2日目 講義内容（予定）
10:10-11:10	緩和ケアとは何か	社会経済的・感情的な問題
11:30-12:30	緩和ケアへの地域住民の参画	スピリチュアルな問題
12:30-13:30	Lunch Break	Lunch Break
13:30-14:30	死と死にゆくこと	倫理的な問題
14:50-15:50	グリーフ（悲嘆）と死別	ケアラーとしてのコミュニケーション
16:10-17:10	身体的な問題	地域資源の活用